

H26. 6. 22

気がついたら貧血に？



長尾和宏 (ながお・かずひろ)
 東京医大卒業後、大阪大第二内
 科入局。平成7年、尼崎市で「長
 尾クリニック」を開業。外来診療
 から在宅医療まで「人を診る、総
 合診療を目指す。医学博士。近著
 「平穩死・10の条件」「胃ろう
 という選択、しない選択」はいず
 れもベストセラー。関西国際大学、
 東京医科大学客員教授。55歳。

日本人はお薬好きです。た
 くさんのお薬をもらわないと
 納得しない患者さんがいま
 ず。一方、お医者さんもお薬
 が好きです。肥満の糖尿病の
 方に食事や運動などの生活指
 導をする前に複数のお薬を出
 しています。患者も医者も、
 まるで宗教のようにお薬を崇
 拝しているように感じます。
 そのなかで、お薬に関連した
 話を2つ紹介します。

まずは「血液サラサラ」の
 お薬の話です。実際に脳梗塞
 を起こしたのならいざ知ら
 ず、MRI検査で「隠れ脳梗
 塞」が見つかったという理由
 でアスピリンを飲んでいる人
 を見かけます。
 日本でもアスピリン服用者
 は年々増えていきます。服用の
 際は胃潰瘍の予防のためにP
 PIなどの胃薬を併用するこ
 とが推奨されています。「胃
 潰瘍の既往がある人の再発予
 防のため」なのですが、機械
 的に併用する場合が多いで
 す。
 腰痛などに「NSAIDs」
 という消炎鎮痛薬を使うとき
 も同様です。私自身もアスピ
 リンや鎮痛剤で患者さんが胃
 潰瘍を起こした苦い経験が何
 度もあります。
 勤務医時代、週2回ほど胃
 カメラの検査日がありまし
 た。たくさん胃カメラ検査
 をしますが、見つかる病気の
 半数近くが痛み止めの薬によ
 る胃潰瘍だった記憶がありま
 す。

薬が原因で胃や大腸から出血

普通の胃潰瘍と、痛み止め
 の副作用による胃潰瘍の違い
 は、自覚症状の有無です。前
 者は、みぞおちが痛みます
 が、後者は腹痛がないのが特
 徴です。自覚症状がないいま
 ま、潰瘍から出血だけ続いて
 いることがあります。ある日
 突然、重症の貧血で顔が真っ
 青になり、調べたらその原因
 は胃潰瘍だった、という経験
 を何度もしました。

したが、胃潰瘍や大腸出血、時
 には脳出血などの危険と隣り
 合わせであることを忘れては
 なりません。
 次は「突然の血便」の話。
 血便というと、まず大腸がん
 や虚血性腸炎という病気が浮
 かびますが、時に偽膜性腸炎
 という特殊な腸炎のことがあ
 ります。これは薬剤起因性腸
 炎のひとつです。へんとう炎
 や細菌性腸炎に抗生剤が処方
 されたのが原因だったことが

ありますが、じんましんとし
 て表に出れば、すぐに副作用
 だと分かります。しかし「胃
 や腸からの出血」という形だ
 と相当重症にならないと、本
 人もお医者さんも気がつかない
 こともあります。お薬を飲
 むときは、どんな薬であつて
 も、常に副作用に注意するこ
 とが大切です。



「胃腸」シリーズ⑧

薬剤起因性腸炎 疾患の治療のために投与さ
 れた薬剤の副作用で起きる急性の腸炎。原因薬
 剤としては抗生剤が多く、非ステロイド性消炎鎮痛剤
 や抗がん剤などでも起こる。鎮痛剤は胃潰瘍以外に、
 小腸や大腸にも潰瘍を起こすことが知られている。

あれから20年経過した現在
 でもあります。腸炎の治療薬が腸
 でも、在宅患者さんの様子が
 おかしいなと思ってよく診察
 すると、結局、痛み止めによ
 る胃潰瘍だったということが
 時々あります。
 たこえ胃薬を併用してい
 ておきながら起きるときは起きます。血
 液サラサラ薬で脳梗塞や心筋
 梗塞予防するのはいいので
 ありますが、併用して
 現在医学が発達して、消
 炎剤や抗生剤を使う機会が飛
 躍的に増えました。お薬の恩
 恵にあずかる機会が増える一
 方、思わぬ副作用に悩まされ
 ることも多くなりました。よ
 かれと思つてやっていたこと
 が、大きく裏目に出ることが
 あります。